

# 審議した主な議案

## 平成29年度一般会計 補正予算(第6回)

2月21日の本会議において、特別委員会(鈴木成夫委員長)に付託し、3月9日、23日の計2回にわたり審査を行いました。予算の主な内容は、市内1園及び市外1園の一時預かり事業に対する新たな補助金として「私立幼稚園補助金に要する経費」(592万円)、新規開設5園、認可保育園に移行する1園、既存施設1園を改修する「保育施設開設及び改修に要する経費」(5億千536万3千円)などです。

3月26日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 賛成討論(要旨)

#### 吹春やすたか(自民党・信頼)

本補正予算は市政の課題である待機児童のための経費、民間保育所運営に要する経費、予防接種に要する経費などが計上され、更に財政調整基金への積戻しや福祉に関する事業などが計上され賛成する。しかし、市職員勤勉手当を上げることや、社会福祉委員の報酬問題に関しては、行政の提案を了とほしない。

### 平成30年度 一般会計予算

2月21日の本会議において、特別委員会(鈴木成夫委員長)に付託し、3月9日、12日、13日、14日、15日、16日、26日、27日の計8回にわたり審査を行いました。

歳出予算の主な内容は、記念式典の開催を始め、多くの冠事

### 賛成討論(要旨)

#### 湯沢綾子(自民党・信頼)

我々の提出した組替え動議が可決され、内容に即した補正を行うとの市長の考えが示されたことから議案には賛成する。しかし、今年度必要となる庁舎等の基本設計予算が計上されていないことは政治姿勢に関わり看過できない。職員定数の減が進展せず、増加する人件費総額が将来への不安材料になっている。

### 反対討論(要旨)

#### 水上洋志(日本共産党)

第1に、市民生活に新たな犠牲を負わせる予算となっているからである。第2に、大規模事業等の不要不急の事業に税金を使う予算だからである。第3に、行革ありきの進め方で、負担増と市民サービス低下が行われるからである。そして、社会福祉委員の報酬問題は市役所の根本が問われており改善を求める。

### 賛成討論(要旨)

#### 小林正樹(公明党)

本原案に含まれる小金井グラウンドデザイン策定事業は、コストに見合った提案とは言えない。庁舎建設については、事業費圧縮はもちろんのこと、市民に分かりにくい財政運営はやめるべき。事務執行の問題が発覚し、現時点において職員給与のアップを認めていくことは、市民の理解が得難い状況にある。

### 反対討論(要旨)

#### 片山 薫(緑・市民自治)

貧困や命に関わる相談者を支援する婦人相談員が、不安定雇用の非常勤では、継続した支援に大きな不安が残る。新庁舎及び新福祉会館建設の基本設計費障がい者差別解消条例の広報の予算がなく、また就学援助の認定倍率の引下げ及び社会福祉委

員への報酬誤支給に係る不適切な処理などから反対する。

### 賛成討論(要旨)

#### 村山ひでき(市議会民進党)

市制施行60周年関連事業への補助、待機児童対策・保育関連経費、消防団活動に要する経費、広域支援による可燃ごみの処理経費、コミュニティバス再編事業支援委託料など市民生活に多大なる影響を与える本件予算が否決されて暫定予算とさせないために組替え動議にあえて賛成したことを表明し賛成する。

### 賛成討論(要旨)

#### 白井 亨(こがおも)

社会福祉委員報酬誤支給発覚後の対応は、事務執行に大きく問題がある。これを機に市役所は変わる。婦人相談員・母子父子自立支援相談員は、実態把握と相談環境、対応、体制の検証をし、必要に応じてやり方の見直しを求める。しかし、これからの小金井市を創る予算が組まれていくため、賛成する。

### 賛成討論(要旨)

#### 田頭祐子(生活者ネット)

昨年は職員手当の増額に反対し、勤勉手当は据え置かれた。今年度の人事委員会勧告と労使合意に基づく引上げは、他市と見劣りしない処遇の観点でも必要だ。当初予算を暫定とさせないための市長の努力は評価し、婦人相談員など専門性が必要な職員の配置と、相談者の安心が得られる引継ぎを求め賛成する。

### 賛成討論(要旨)

#### 沖浦あつし(こがあす)

主に子育て支援等の民生費に充て、また児童生徒及び市民が利用する学校・公共施設の改修に国や都の補助金を有効活用している本予算は、阿波おどり大会、小金井新能の冠事業や、プ

ロモーションビデオ制作等、市民参加の数々の市制施行60周年記念事業を含むものでもあり、早急な予算執行が求められる。

### 職員給与に関する条例の一部を改正する条例

2月22日の本会議において、総務企画委員会(小林正樹委員長)に付託し、3月7日、22日の計2回にわたり審査を行いました。本条例は、東京都人事委員会勧告等を踏まえ、職員の勤勉手当の年間支給額の引上げと55歳以上の昇給停止を行うものです。3月7日の委員会では、勤勉手当の引上げを行わない旨の修正案が提出され、修正部分を可決した後、修正部分を除く原案について、起立採決の結果、起立全員により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

### 賛成討論(要旨)

#### 鈴木成夫(市議会民進党)

東京都給料表導入後も、住居・扶養手当、特別調整額定額化、期末勤勉手当の職務加算や支給割合の標準化を進めてきた方針がある。この方針に基づき、期末勤勉手当を0・2月引き上げ、55歳昇給停止導入を提案するもので、人事委員会勧告による給与適正化は市長政策ではなく制度に沿ったものである。

### 反対討論(要旨)

#### 渡辺大三(情報公開)

市長原案は、市職員のボーナスを0・2か月分引き上げる内容で、本年度において3千23万円、来年度において4千300万円の人件費増を招く。西岡市長が

就任した平成27年度の人件費総額に比べ、平成29年度は約4億円、平成30年度は約4億5千万円も増えることになり、市民の理解は得られない事態である。

### 小金井市国民健康保険条例の一部を改正する条例

2月22日の本会議において、厚生文教委員会(水上洋志委員長)に付託し、3月5日の委員会では審査を行いました。本条例は、地方税法の改正により、基礎課税額の課税限度額の引上げ、被保険者均等割額の引上げ、世帯別平等割額の廃止及び減額対象基準額の引上げ等を行い、国民健康保険事業の円滑な財政運営を確保するためのものです。3月26日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 反対討論(要旨)

#### 板倉真也(日本共産党)

平等割を廃止し均等割を増やすということは、所得に関わりなく国保加入者が複数いれば増税となり、国保加入者が多ければ多いほど税額が雪だるま式に増えることになる。国保税は法律で「社会保障」と規定しており、一般会計からの繰入金をしてしまっても構いません。負担増とならないようにすべき。

### 賛成討論(要旨)

#### 小金井市介護福祉条例の一部を改正する条例

2月22日の本会議において、厚生文教委員会(水上洋志委員長)に付託し、3月5日の委員会では審査を行いました。本条例は、高齢者人口の増加に伴う要介護認定者の増加や特別養護老人ホームの増設による介護保険料率の改定、合計所得

金額の定義の変更、また、公費負担に係る用語の整備、介護保険法改正に伴う規定の整備を行うものです。

### 3月26日の本会議では、起立採決の結果、起立多数により、原案のとおり可決しました。

### 反対討論(要旨)

#### 森戸洋子(日本共産党)

介護保険料を値上げする条例改正だが、高齢者の生活は厳しい状況であり、値上げすべきではない。また、介護保険制度そのものが変更され、要支援1・2の利用者の更なる介護サービス外しや、訪問介護の回数制限など問題が多い。市は、制度変更について、高齢者を守る具体的な手立てを打つべきである。

### 会派名が変わりました

4月1日付けで、鈴木成夫議員、村山ひでき議員及び岸田正義議員の所属する会派より会派異動届が提出され、会派の名称が次のとおり変更となりました。(新)みらいのこがねい(旧)小金井市議会民進党

### 議員の連絡先が変わりました

平成29年5月30日発行の市議会だより第256号に掲載した名簿の情報から変更のあった内容について、お知らせします。

#### 白井 亨(こがおも)

電話番号 080-4004-15

#### 927

●片山 薫(緑・市民自治)

住 所 前原町5-9-6



各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。